

歯ごたえがいいおいしいインゲンをつくりましょう!



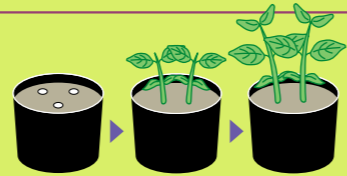
ここがポイント!

- ◎酸性土壌に弱いので石灰類の使用で土づくりを
- ◎チツソ分の控えめな肥料を与える
- ◎連作障害を起こしやすいので3~4年マメ類を育てていない場所を選ぶ



1.5kgで通常の堆肥の15kg分の効果がある「固形濃縮堆肥」がおすすめ。

1. 種まき・苗づくり。



ビニールポット(もしくは育苗箱)に指で3箇所ほど2cmほどの穴をあけ、種を1粒ずつ入れて覆土します。発芽まで、鳥の食害に合わないよう穴をあけたビニールなどで覆っておきましょう。10日くらいで発芽します。本葉2枚の頃、間引いて2本立てにします。直播の場合は株間30cm取り、一箇所3~4粒時き発芽後、元気な苗を2本残り間引きします。

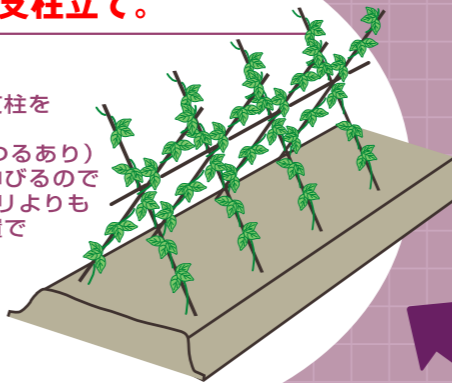
2. 土づくり。

植付けの15~20日前に苦土石灰100g/m²、たい肥1kg/m²、5日~7日前に「まめの肥料」450g/m²を全面に施しておきます。酸性土壌を嫌いますので、土壌はしっかりPH調整(土づくり)しておきましょう。

元肥 1mあたり 約50g

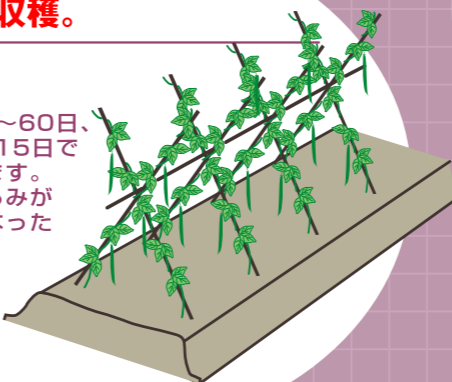
5. 支柱立て。

追肥と同時に支柱を立てます。インゲンマメ(つるあり)はつるが長く伸びるのでトマトやキュウリよりも支柱を低い位置で交差させます。



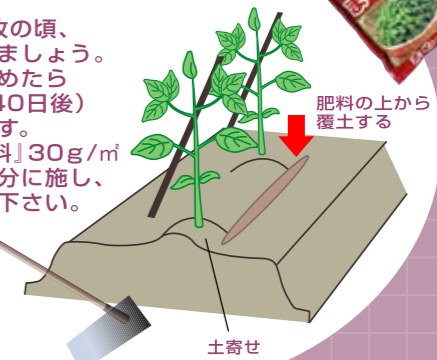
6. 収穫。

種まきから50~60日、開花から10~15日で収穫期を迎えます。さやに実の膨らみが見えるようになったものから収穫して下さい。



4. 土寄せ・追肥。

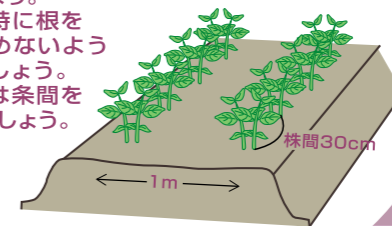
本葉3~4枚の頃、土寄せをしましょう。花が咲き始めたら(植え付け40日後)追肥をします。「まめの肥料」30g/m²うねの肩部分に施し、土をかけて下さい。



追肥 1mあたり 約30g

3. 植付け。

株間は20~30cm取りましょう。植え付け時に根を切って傷めないよう注意しましょう。つる性種は条間を1mとりましょう。



朝日工業株式会社
http://www.asahi-kg.co.jp

つくった人だけがわかる喜びがある!